

平成27年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：義務教育指導課

担当名：教育指導担当

内線：6778

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B64	理科教育振興・支援事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	指導内容研究推進費	
事業期間	平成25年度～	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第48条			戦略項目	06	時代に応え未来を拓く人材育成	
					分野施策	020101	確かな学力と自立する力の育成		
1 事業の概要 学年が進むにつれて「理科離れ」が進んでいることが危惧されている。そこで、「科学の甲子園ジュニア」の県予選会を実施し、理科好きな生徒の裾野を広げる。また、小・中学校の理科教育の接続を改善するとともに、教員の理科の観察・実験に関する指導力の向上を図るため、各学校の研修等で中核的な役割を担う教員を集め、観察・実験の指導に関する研究協議会を実施する。 (1) 「科学の甲子園ジュニア」予選会実施 727千円 需用費等の節約による減 (2) 理科教育の充実に向けた支援 94千円 需用費の入札差金発生に伴う減			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 「科学の甲子園ジュニア」予選会実施 1,450千円 「科学の甲子園ジュニア」県予選会を実施する。 イ 理科教育の充実に向けた支援 1,200千円 小・中学校の理科教育の接続を改善するとともに、教員の理科の観察・実験に関する指導力の向上を図るため、各学校の研修等で中核的な役割を担う教員を集め、観察・実験の指導に関する研究協議会を実施する。 (2) 事業計画 ア 「科学の甲子園ジュニア」県予選会実施 予選を通して、県代表チーム(6～8名)を決める。 イ 理科教育の充実に向けた支援 各学校の研修等で中核的な役割を担う教員を集め、県内16会場で観察・実験の指導に関する研究協議会を実施 (3) 事業効果 ア 「科学の甲子園ジュニア」県予選会実施 理科好きな生徒の裾野が広がる。 イ 理科教育の充実に向けた支援 教員の理科の観察・実験の資質や指導力の向上が図られる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 ア 科学技術振興機構との連携 (5) 補正予算の概要 (1) 「科学の甲子園ジュニア」予選会実施：需用費等の節約による減額。 (2) 理科教育の充実に向けた支援：需用費の入札差金発生に伴う減額。						
2 事業主体及び負担区分 (1) (科学技術振興機構3/4・県1/4) (2) (国10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	諸収入						
決定額	821	94	547					180	1,829
現計額	2,650	1,200	1,087					363	